

ICPDA. # 330-11

自昭和十七年五月一日  
至昭和十七年五月三十日

陣中日誌

第拾貳號、壹

3-47<sup>b</sup>  
(32)

野戰高射砲第弐五大隊第一中隊

EXHIBIT 100-600  
FOR INFORMATION ONLY

天候	五月十三日 水曜日
任務及陣地	兵站病院西南方ニ在リテ工場地帶重軍施設
訓練	中部兵營近東京・新宿西驛ノ掩護作戦 自一九三〇年十一月分隊放練實施放官荒木少尉
命令及領下	左記命令ヲ受領ス
左記	中隊命令 五月十三日六〇 スラバヤ市
一高田五日命第四大隊基中隊職介組ヲ左記 如ノ一部變更ス	一高田五日命第四大隊基中隊職介組ヲ左記 如ノ一部變更ス
一陸軍准尉 桑畠豊吉	一陸軍准尉 桑畠豊吉
免 第二小隊長	免 第二小隊長
陸軍准尉 柳原藤雄	陸軍准尉 柳原藤雄

免人事掛

命 第二小隊長

但シ當分間人事掛ヲ指導スヘシ

陸軍曹長 清永 勝

免 庶務掛

命 人事掛

陸軍曹長 吉永 林合

命 庶務掛

中隊長 山田 中尉

會報受領

左記會報ヲ受領ス

左記

會

報

五月十三日一大。。

スラハヤ市

一左記ノ通り參謀長ヨリ注意ヘアリタルニ付爾今  
カ九注意ヲ再び受ケサル様指導相成リ度シ

左記

二字挿入

(一) 一般民衆ニ尚立入、物品等無断持出且亂  
暴ヲ傷ヲ等、不徳儀ヲ犯ス者尼ハ甚ダ遺憾ナ  
リ殊ニ兵團食堂近隣ニ此ノ種事故頻發スル  
趣ナリ付嚴ニ注意サドシ  
二日下兵站宿泊所休養中、朝鮮慰安婦ヲ無断  
連出ス有有ド、注意アラル付念、爲會報人  
三五月十一日晝間、コキシム映画館ニ於テ黒皮獸布一ヶ  
二画出アリタル由ニ付調査、上明會報時迄通報丁々  
内容品 ギルタ軍票一〇円一枚 ヘリ軍票一弔一枚  
ジヤウ紙幣一円一枚 日本銅貨一弔 二枚 小形鏡一ヶ  
寫真五枚 名刺六枚 御手二枚  
四月十五日ヨリ十日間左スラバヤ駐留部隊將兵  
慰問狀頃會開催花ル付警備並勤務之文

集結

中野兵營並東京、新宿兩驛掩護、後入  
高畠作命第四十九飛第頭、基井上小隊八〇。

○中隊主力陣地集結完了ス

命令受領  
左記命令受領ス

左記

高畠日命  
追加命令

大隊命令

五月十六日二六〇〇  
二三八八市

一、陸軍少尉

大森新次

交換兵器調査、爲五月十六日出發 マランニ出

張シ用済後歸隊スベシ

大隊長 王田少佐

下達法命令受領者ヲ集ノロ連筆記セシム

左記命令受領ス

人會報

左記

五月十六日二六〇〇  
二三六八市

會報受領

人會報

左記

五月十六日二六〇〇  
二三六八市

一本十六日一四〇〇ヨリ左記ニ依リ日本慰安婦營業  
ヲ開始ス

左記

南慰安所 明日組 十三名  
第二將校俱樂部 賜組 十名  
值 政 兵 一時間 = 圓

他、從前通、

二、第三將校俱樂部於ハ爾今廿二六料ヲ玉代、  
半介十文

日本 人 三十 分 一 圓  
現住 民 三十 分 五 錢

ビーハ一本四五錢ニ値上也

三、慰安所於經營者、規定通、料金ヲ支拂ハ  
サル者アリク後違反者ハ處罰セラルニ付注意トシ

種

藥

人員

高射火銃彈  
小銃彈  
數左通

七八三發  
二十九發

中隊長以下一九名

四別紙並止區域（有毒慰安婦隔離區域）ニ立入リテ  
嚴禁セルガ市内巡察ハ右區域ヲ巡察セラレ度シ  
井上小隊、中隊主力ハ復歸ヨル中隊彈薬現在

（宣傳部）

五月十六日

晴

天候

佐藤及陣地

兵若病院西南方ニ在シ工場地帶市重要施設  
中野兵營並東京・新宿両駅掩護三件

〔以下略〕